

笑顔でつなぐトス&スパイク！

中学生が大阪ブルテオンとバレーボール交流



7月31日、パナソニックアリーナで枚方市子ども交流事業が行われ、市内中学校バレーボール部の生徒が市PR大使・大阪ブルテオンの選手から指導を受けました。中学生vs選手の練習では、楽しみながらも自分たちのプレーを話し合い「後ろの空いているところを狙おう」など作戦を立てる姿も。市立第二中学校から選抜で参加した篠原有美さん(14歳・下写真左端)は「とても貴重な体験でした。選手から学んだレシーブやスパイクのこつを部活のメンバーに伝えたい」と話しました。

まろちの話題

話題のニュースやイベントなどを紹介！

平和のために違いを認め合う

池上彰さんと小中学生が意見交換



7月18日、総合文化芸術センターで、ジャーナリストの池上彰さんが講演後、小中学生13人と平和をテーマに意見交換をしました。終戦80年平和事業として開催したもので、約800人が参加。小中学生からの民族や文化の違いで生じた対立への解決策の問いに対し「時間をかけて壁をなくすこと」と答え、会場中がうなづく場面も。松尾奏和さん(15歳・写真左端)は「平和のためには相手との違いを認め合うことが大事」と真剣な表情で話しました。

▶枚方Tサイトで、友達に撮ってもらった写真です(16歳)



▲ひらかたパークで雪遊びをしている写真(5歳)

枚方は私の原点

私は18歳まで枚方市で過ごしました。小さい頃家族でよく行ったひらパーは思い出がいっぱいの場所です。シヨを観に行ったり、冬になるとスケートや雪遊びをしたりするのが楽しみでした。子どもから大人まで、みんなが「楽しい！」でいっぱいになれる、そんな空間がとても好きです！高校生の頃には、ひらパーでアトラクションのアルバイトをしたこともありました。

実家に帰った時は枚方市駅周辺のお散歩も私のお気に入り。Tサイトができてから、わくわくがぐんと増えました。全面ガラス張りのスタイリッシュな建物も素敵ですし、本の種類がとにかく豊富でどれを読むか迷ってぐるぐる回っている時間がとても楽しいんです。市駅周辺は落ち着くし、便利だし、歩いているだけでうれしくなります。…書いていたら、ちよっと帰りたくなってきました。枚方は、温かくて懐かしくて、帰って来るとほっとする。そんな、私の原点です。

枚方 思い出の1コマ

ひらかたかぞく

家族

枚方ゆかりの著名人の皆さんが秘蔵の写真とともに思い出を語ります。

第75回 **かとう ゆい** **加藤 結さん**



枚方市出身。“かとう ゆい”の愛称で親しまれるなきむし見習いシンガー。令和2年にSKE48を卒業し路上ライブを中心に活動。令和6年4月には100回を達成。令和7年5月に1st EP『charm』をリリース。エッセイ的な自作ソングや水彩画も得意で、絵、文章、音楽と多面的な表現力が魅力。どこか幼さの残る透感のある歌声を、今日もまっすぐに響かせている。

私には18歳まで枚方市で過ごしました。小さい頃家族でよく行ったひらパーは思い出がいっぱいの場所です。シヨを観に行ったり、冬になるとスケートや雪遊びをしたりするのが楽しみでした。子どもから大人まで、みんなが「楽しい！」でいっぱいになれる、そんな空間がとても好きです！高校生の頃には、ひらパーでアトラクションのアルバイトをしたこともありました。

編集後記

毎月広報紙に掲載している「枚方キッチン」。今回の取材で、減塩や野菜の量など、たくさんの健康に関するポイントを

市の管理栄養士が考え抜いた末に出来たレシピだと再確認できました。ぜひ、皆さんの食卓にも加えてみてください。



編集者 M